

## 令和元年度決算の概要

## 1 一般会計

**歳入総額** 8,848億7,771万3千円(前年度比+508億2,102万5千円、6.1%増)

**歳出総額** 8,689億540万4千円(前年度比+472億9,684万1千円、5.8%増)

**実質収支額** 歳入歳出差引額は159億7,230万8千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は54億1,963万9千円で、前年度比△10億8,109万円2千円、16.6%減となりました。

## 【決算額等の対前年度比較】

(単位:千円、%)

区 分	令和元年度決算額 ①	平成30年度決算額 ②	比較増減 (①-②)	前年度比
歳 入 総 額	884,877,713	834,056,687	50,821,025	106.1
歳 出 総 額	868,905,404	821,608,563	47,296,841	105.8
歳 入 歳 出 差 引 額	15,972,308	12,448,124	3,524,184	128.3
翌年度へ繰り越すべき財源	10,552,669	5,947,392	4,605,277	177.4
実 質 収 支 額	5,419,639	6,500,732	△1,081,092	83.4

## 2 特別会計(11会計)

**歳入総額** 4,961億6,037万9千円(前年度比+316億8,669万5千円、6.8%増)

**歳出総額** 4,875億2,600万7千円(前年度比+307億3,290万9千円、6.7%増)

**実質収支額** 歳入歳出差引額は86億3,437万2千円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支の合計額は86億2,705万5千円で、前年度比+11億7,066万9千円、15.7%増となりました。

## 【決算額等の対前年度比較】

(単位:千円、%)

区 分	令和元年度決算額 ①	平成30年度決算額 ②	比較増減 (①-②)	前年度比
歳 入 総 額	496,160,379	464,473,684	31,686,695	106.8
歳 出 総 額	487,526,007	456,793,097	30,732,909	106.7
歳 入 歳 出 差 引 額	8,634,372	7,680,586	953,785	112.4
翌年度へ繰り越すべき財源	7,316	224,199	△216,883	3.3
実 質 収 支 額	8,627,055	7,456,386	1,170,669	115.7

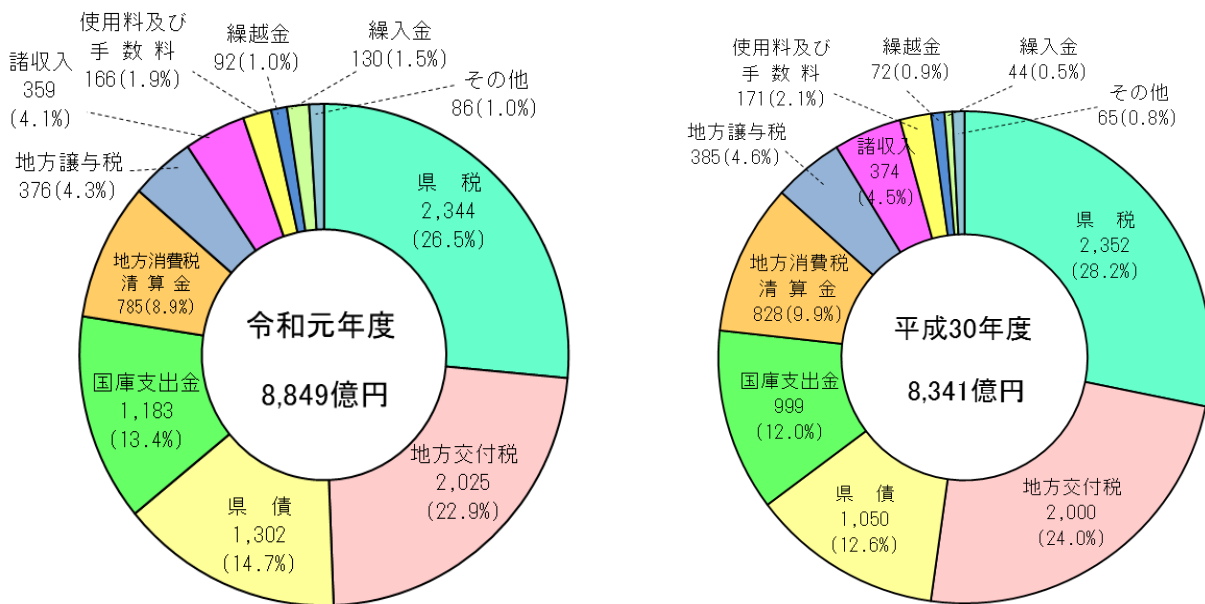
## 【一般会計の歳入状況】

### ○対前年度増減が大きい款

(単位：億円)

款	R1	H30	増減額	主な要因
県 債	1,302	1,050	+252	土木債（道路・直轄事業債）の増（+157.6） 教育債（県立武道館建設関連事業等）の増（+42.4）
国庫支出金	1,183	999	+185	土木費国庫補助金の増（+109.3） 災害復旧費国庫負担金の増（+20.3）
繰 入 金	130	44	+86	財政調整基金繰入金の増（+69） 地域医療介護総合確保基金繰入金の増（+14.7）
諸 収 入	359	374	△15	中小企業融資制度資金貸付金返還金の減（△22.7）
地方消費税 清算金	785	828	△44	地方消費税清算金の減（△43.7）

### ○款別構成比の対前年度比較



### ○過去10年の推移



(注) グラフ中の数値は表示単位未満を四捨五入しているため、合計は一致しない場合があります。

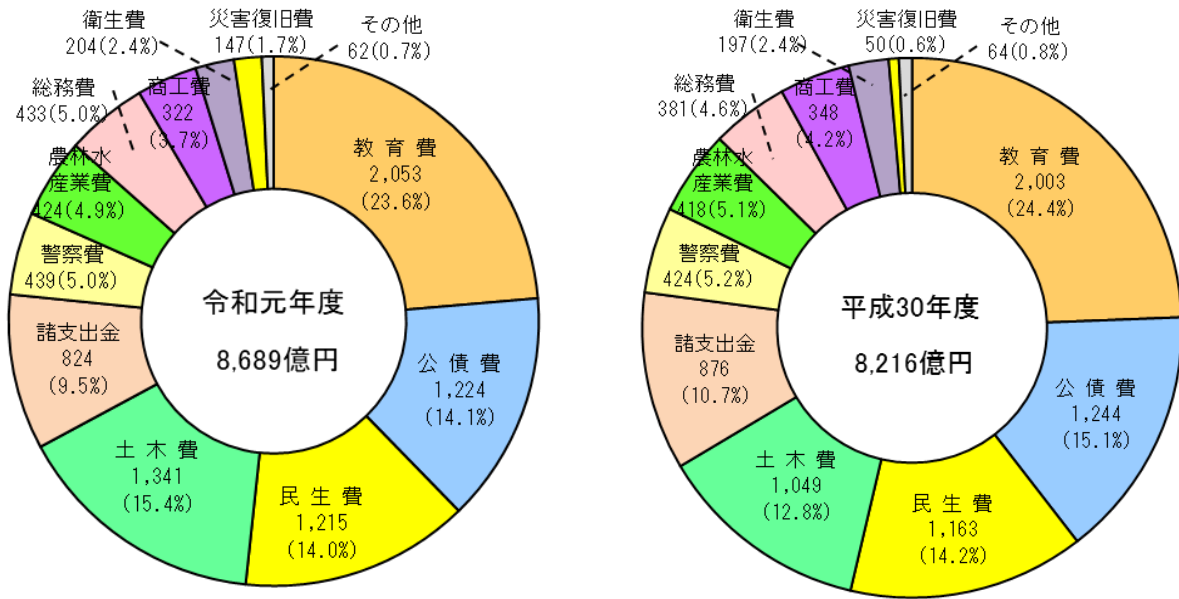
## 【一般会計の歳出状況】

### ○対前年度増減が大きい款

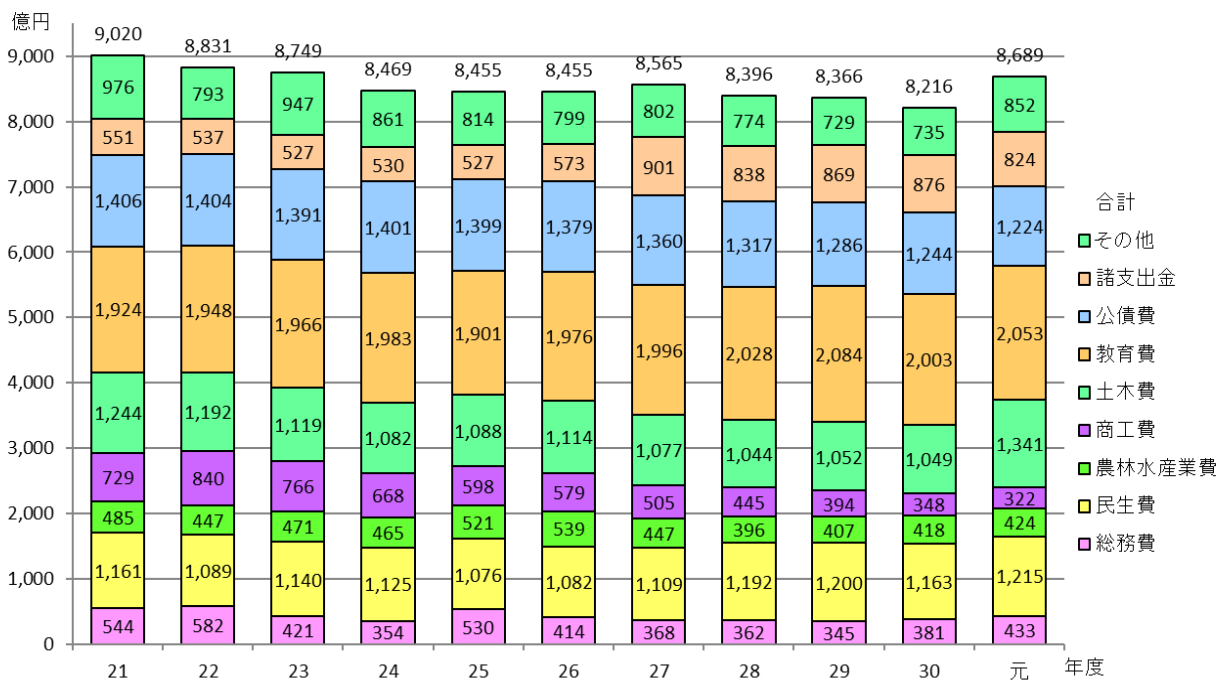
(単位：億円)

款	R1	H30	増減額	主な要因
土木費	1,341	1,049	+292	道路橋梁維持費の増(+106.1) 道路橋梁新設改良費の増(+44.6) 直轄事業負担金(+109.7)
災害復旧費	147	50	+97	土木施設災害復旧費の増(+75.4) 県単土木施設災害復旧費の増(+22)
公債費	1,224	1,244	△20	公債費特別会計への繰出金の減(△19.9)
商工費	322	348	△26	中小企業融資制度資金の貸付等の減(△22.7)
諸支出金	824	876	△52	地方消費税清算金及び交付金の減(△41.9)

### ○款別構成比の対前年度比較



### ○過去10年の推移



(注) グラフ中の数値は表示単位未満を四捨五入しているため、合計は一致しない場合があります。